

関係者各位

### プランクトン調査結果のお知らせ

本日、午前9時に浦ノ内湾でプランクトン調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

養殖漁場の環境は、水温が24.0～30.2℃、塩分が16.7～32.6、溶存酸素量が0.1～14.9mg/Lでした。深度5mより浅い層では塩分が30未満となり、10m層及び底層では貧酸素状態になっていました。

検鏡の結果、魚類に対して有害なシャットネラ属が最高で6,700 cells/mL、カレニア・ミキモトイが最高で280 cells/mL確認されました。浦ノ内湾全域でシャットネラ属が漁業被害が想定される密度を超えていますので、十分注意してください。

海や養殖魚の状態に応じて、餌止めなどの慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

調査定点	水温(℃)			塩分		
	光松	大鹿	福良	光松	大鹿	福良
0m	30.0	30.2	28.6	18.3	16.7	24.5
1m	28.4	28.7	27.4	24.8	24.0	25.8
2m	27.2	27.2	26.7	27.3	27.3	27.4
3m	26.7	26.6	26.6	28.3	28.5	28.4
4m	26.3	26.3	26.6	29.4	29.4	29.3
5m	26.0	26.0	26.8	30.0	30.0	30.3
10m	25.5	25.6	-	32.3	32.2	-
B-1m	24.0	24.2	26.4	32.6	32.6	31.9

調査定点	溶存酸素量(mg/L)		
	光松	大鹿	福良
0m	10.7	11.6	13.5
1m	14.9	12.4	10.4
2m	14.5	13.8	10.1
3m	10.8	11.0	5.9
4m	8.1	8.3	4.1
5m	6.5	5.9	3.4
10m	2.0	2.3	-
B-1m	0.1	0.1	1.5

	深度	漁業被害が想定される細胞密度	
		シャットネラ属	カレニア・ミキモトイ
鳴無	1.2m	1,280	80
	5m	40	1
中学校前	1.2m	5,800	280
	5m	13	0
福良	1.2m	6,700	0
	5m	3	0
光松	1m	200	0
	5m	90	0
大鹿	1m	15	1
	5m	440	0

